

## R37a ASCA 衛星によるガンマ線バースト源の観測

村上敏夫(宇宙研)、柴田 亮(宇宙研)、吉田篤正(理研)

最近の調査ではガンマ線バーストは 1962 年頃には既に OGO-5 衛星などで検出されていた。初めての公表は 1973 年である。これを考えると、既に 33 年が経過したが、いまだにその起源が分からない。我々は ASCA 衛星を使用して、この起源を調べる作業をしている。昨年(1995)の講演では柴田によって GB920501 の観測結果の報告が行なわれた。誤差領域の中に X 線源が見い出されたのである。最近の KECK の観測で、この中に銀河と思われる天体が見い出された。ガンマ線バーストと X 線源と KECK 天体(銀河)との関連を議論する。また ASCA は別の GB781119 と呼ばれるガンマ線バースト源の観測の解析もほぼ完了したので、その結果も発表する。このケースでもガンマ線バーストの誤差領域の中に X 線源が見い出され、そこで GB920501 と同様に KECK や Lick observatory での観測が予定されている(この予稿の段階ではまだ観測されていない)。これらを含めて、ガンマ線バーストの誤差領域に銀河が見つかることの問題点を報告します。